

平成27年度

事業報告

社会福祉法人 あまくさ福祉会

平成27年度 指定特定相談支援事業報告書

○計画相談支援

【1】目的

障がい者(児)の自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントの手法を用いて継続的に支援していくことにより、地域で安定した生活を送れるよう支援することを目的とする。

【2】事業内容

- (1) 本人のニーズの把握
- (2) 利用者宅を訪問し、面接によるアセスメントを実施
- (3) 計画作成の手続き
- (4) サービス等利用計画の原案作成
- (5) サービス担当者会議の開催、サービス等利用計画原案についての意見聴取
- (6) サービス等利用計画の原案を利用者に説明
- (7) 定期的なモニタリング、継続的な支援
- (8) 必要に応じ、サービス等利用計画の変更、サービス利用者等との連絡調整

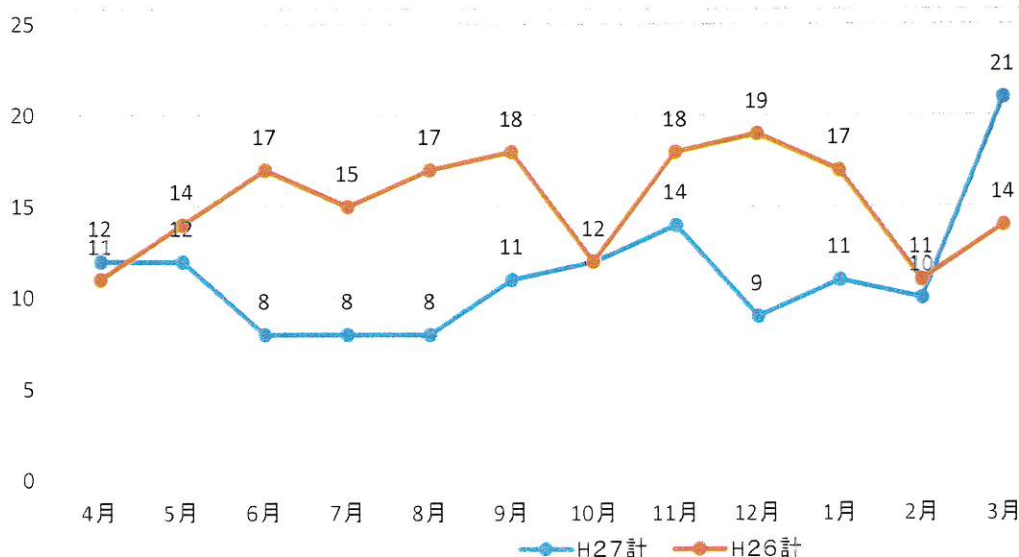
【3】サービス利用計画作成対象者数

単位(人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	0	2	3	3	4	2	3	5	2	3	2	8	37
モニ	12	10	5	5	4	9	9	9	7	8	8	13	99
H27計	12	12	8	8	8	11	12	14	9	11	10	21	136

新規	2	1	4	3	3	3	4	3	2	4	1	4	34
モニ	9	13	13	12	14	15	8	15	17	13	10	10	149
H26計	11	14	17	15	17	18	12	18	19	17	11	14	183

(注) 新規……サービス等利用計画の作成
モニ……モニタリング



【4】登録者数 58名(平成28年3月31日現在)

○基本相談支援

【1】目的

・障がい者やそのご家族、また関係機関等からの相談に応じ、その当事者の方が地域で安心して日常生活を営むことができるよう、その人に何が必要なのかを考え、その人に応じた支援を実施していく。また市町村における相談支援事業が適正かつ円滑に実施されるよう、一般的な相談支援事業に加え、専門的知識を持った職員により、相談支援機能の強化を図ることを目的とする。

【2】事業内容

- ①福祉サービスの利用援助
 - * 障害者自立支援法に規定されたサービスに関する助言・指導・援助等
- ②社会資源を活用するための支援
 - * 就労に関する助言・指導・支援
 - * 就労ネットワークの構築
 - * 社会保障等に関する助言・指導・支援等
- ③社会生活力を高めるための支援
 - * 病気や治療、精神的問題など日常生活に関する助言・指導・支援
- ④ピアカウンセリングに関する業務
 - * 人材育成を行っていく
- ⑤権利擁護のために必要な援助
 - * 人権、権利の擁護に関する支援等
- ⑥専門機関の紹介
 - * インテーク、他施設・機関等の紹介等

【3】相談件数

単位(件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
天草市	84	95	75	100	80	45	75	80	95	105	75	85	994
上天草市	5	10	20	4	5	1	5	5	8	10	15	11	99
苓北町	1	2	1	12	15	10	8	10	9	10	10	7	95
その他	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3
合計	90	107	96	116	100	57	88	96	113	125	100	103	1,191

○ H27年度の振り返りとH28年度の取り組みについて

基本相談支援については相談実利用者は58名、延利用者数1,191名であり、昨年度より実利用者は5名増になっているが、延利用者は72名減となっている。支援方法については、電話相談が多く支援内容が生活技術、健康、福祉サービスに関するアドバイスや直接支援が多かった。

計画相談支援においてはサービス等利用計画の作成37件(前年比+3)、モニタリング99件(前年比△50)であった。モニタリングにおいて前年度約50%減であることについては、平成24年4月からの法改正により障害福祉サービス利用者すべての方へサービス利用計画を作成することとなり平成27年度末において熊本県域99%達成、天草圏域100%に達成したことと繋がる。

28年度は登録者数75名に増やすこと目標にする。同時に専門的面接技術、感性及びアセスメント力等の相談支援専門員の資質向上を目指す。日々の業務がスムーズに進められるよう職員間の情報共有が必要であり、確実な事業運営をしていくためには、モニタリングの管理体制が重要だと考える。

平成27年度 生計困難者レスキュー事業報告書

【1】目的

- ・ 社会福祉法人の社会貢献活動として、生計困難者への心理的不安の軽減や公的な制度やサービス等 への橋渡しを行う事を目的に、生計困難者に対する相談・支援事業を実施
- ・ 支援事業として、生計困難者が公的な制度やサービスなどを受けられようになるまでの間、必要に応じて生活必需品の給付、一時的な住まいや食事提供等の経済的援助を実施

【2】事業の特徴

- (1) 事業を実施する法人の施設にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置
- (2) 県・市の福祉事務所など公的機関や市町村社協、民児協等と連携し重層的な支援体制の構築を目指す
- (3) 対象者を限定せず、すべての生計困難者を対象とする
- (4) 施設に総合相談窓口を開設し、生計困難者の生活課題に対応する
- (5) 必要に応じて経済的援助をおこなう。現金給付ではなく、担当のCSWが買い物や支払に同行するなどして現物給付で行う

【3】レスキュー事業の実施状況

※平成28年3月31日現在

(1) 支援実施状況

1) 支援受付報告書提出	10	件	
2) 支援終了記録提出	10	件	
3) 基金支払請求	10	件	計 83,746円
4) 支援継続中	1	件	

(2) 支援内容集計表

月別相談 受付件数		対象者 年代別	対象者 男女別
7月	1件	20代	0
8月	0件	30代	1
9月	1件	40代	1
10月	0件	50代	3
11月	1件	60代	3
12月	0件	70代	2
1月	3件	80代	1
2月	0件	計	11
3月	5件		
計	11件		

対象者 平均年齢	平均 支援期間	平均 訪問回数	平均 同行支援回数	基金 支払総額	平均 基金支払額
62歳	19日	4.0回	3.0回	83,746円	8,421円

○ H27年度の振り返りとH28年度の取り組みについて

県内約200社会福祉法人でつくる県社会福祉法人経営者協議会がH27年度4月に生活に行き詰った人に手を差し伸べる「生計困難者レスキュー事業」をスタートしたが、民間ならではの小回りの利く支援は公的支援の隙間を埋める役割を果たし想定を超える相談が寄せられた。課題を抱えながらも、支援の一翼として実績をあげているため、公益を目指す社会福祉法人にとって、レスキュー事業は本来的な役割のひとつでもある。行政や公的機関と合わせ28年度は迅速・柔軟な支援ができるよう取り組んでいきたい。

地域活動支援センターⅡ型

1. 事業内容

※基礎的事業

- ・創作的活動(料理、手芸、絵画など)
- ・生産的活動
- ・その他

※Ⅱ型事業

- ・医療、福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整
- ・地域住民ボランティア育成
- ・障がいに対する理解促進を図るための普及活等の事業実施

2. 事業報告

<登録者>

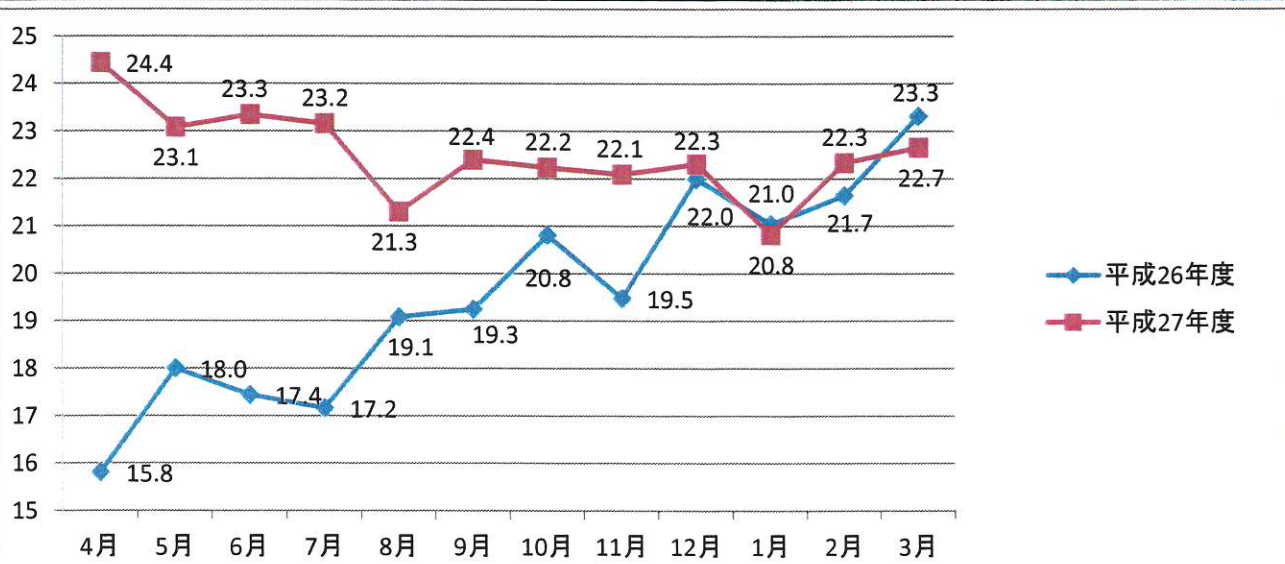
天草市	男性115名(新規5名)	182名(新規8名)
	女性67名(新規3名)	
苓北町	男性14名(新規0名)	20名(新規0名)
	女性6名(新規0名)	
上天草市	男性10名(新規0名)	12名(新規0名)
	女性2名(新規0名)	
合計	男性139名(新規5名)	214名(新規8名)
	女性75名(新規3名)	

◆基礎的事業

1. 憩いの場の提供

<平成27年度利用人数>

平成27年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	実利用人数	611	554	607	602	490	515	578	508	513	458	536	589	6561
	開所日数	25	24	26	26	23	23	26	23	23	22	24	26	291
	平均	24.4	23.1	23.3	23.2	21.3	22.4	22.2	22.1	22.3	22.0	20.8	21.7	22.7



平成27年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
性別	男性	480	426	490	480	376	391	445	392	394	342	391	446	5053
	女性	131	128	117	122	114	124	133	116	119	116	145	143	1508
	合計	611	554	607	602	490	515	578	508	513	458	536	589	6561

平成27年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域別	天草市	458	405	445	470	376	419	440	374	374	336	405	450	4952
	上天草市	55	57	74	69	64	47	62	53	53	46	51	52	683
	苓北町	98	92	88	63	50	49	76	81	86	76	80	87	926
	天草圏域外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	611	554	607	602	490	515	578	508	513	458	536	589	6561

<曜日別>

平成27年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
曜日別	月曜	人数	109	75	123	69	116	71	68	92	87	46	120	66	1042
		開所日数	4	3	5	3	4	4	3	2	4	3	4	5	44
		平均	27.3	25.0	24.6	23.0	29.0	17.8	22.7	46.0	21.8	15.3	30.0	13.2	24.6
	火曜	人数	100	79	120	93	87	87	89	67	90	82	92	123	1109
		開所日数	4	3	4	5	4	4	4	4	3	4	4	5	48
		平均	25.0	26.3	30.0	18.6	21.8	21.8	22.3	16.8	30.0	20.5	23.0	24.6	23.4
	水曜	人数	90	81	95	119	94	86	94	92	67	81	89	111	1099
		開所日数	5	4	4	5	3	4	5	4	4	4	3	4	49
		平均	18.0	20.3	23.8	23.8	31.3	21.5	18.8	23.0	16.8	20.3	29.7	27.8	22.9
	木曜	人数	130	101	95	113	69	86	110	84	93	88	69	113	1151
		開所日数	4	5	4	5	3	4	5	4	4	4	4	4	50
		平均	32.5	20.2	23.8	22.6	23.0	21.5	22.0	21.0	23.3	22.0	17.3	28.3	23.1
	金曜	人数	124	139	113	148	71	107	138	111	98	97	108	119	1373
		開所日数	4	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	3	49
		平均	31.0	27.8	28.3	37.0	17.8	26.8	27.6	27.8	24.5	24.3	27.0	39.7	28.3
	土曜	人数	58	79	61	60	53	78	79	62	78	64	58	57	787
		開所日数	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	50
		平均	14.5	19.8	15.3	15.0	10.6	19.5	19.8	12.4	19.5	16.0	14.5	14.3	15.9

<通院機関別>

平成27年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病院別	天草病院	256	241	254	242	204	188	226	219	238	211	225	250	2754
	酒井病院	272	255	294	281	211	272	269	213	200	181	231	255	2934
	うしぶか心愛病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稲村医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	上天草総合病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	83	58	59	79	75	55	83	76	75	66	80	84	873
	合計	611	554	607	602	490	515	578	508	513	458	536	589	6561

2. プログラム活動 (プログラム実施回数 150回)

活動内容	活動回数
施設内活動	92回
施設外活動	58回
合計	150回

活動内容	活動回数	活動内容	活動回数
健康管理プログラム	32回	コミュニケーションプログラム	26回
文化・芸能活動プログラム	14回	学習プログラム	15回
社会資源活用プログラム	29回	その他(各種行事)	9回
調理・栄養管理プログラム	25回	合計	150回

◆機能強化事業(Ⅱ型事業)

1. 医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化のための調整

- ① 天草圏域地域活動支援センター事業所調整会議
- ② 天草地域精神保健福祉連絡協議会
- ③ 個別支援会議
- ④ 旧熊本県精神障害者地域生活支援センター 連絡調整会議
- ⑤ 熊本県精神障害者社会復帰施設協議会
- ⑥ 天草地域自立支援協議会
- ⑦ その他の委員会及び会議

2. 障がいに対する理解促進を図るための普及啓発活動

- ① 場所の提供
 - ・障がい者の自立的な活動、また地域住民との交流を図る
- ② 地域交流
 - ・地域イベントへの参加、関係機関が主催するイベントへの参加
- ③ グリーンフェスタ
 - ・当事者、関係機関、地域の住民の方へ参加を呼びかけ
- ④ 啓発活動
 - ・広報誌「グリーンティー」発行 年6回
 - ・各関係機関主催の研修会・講演会への参加
- ⑤ 交流会・スポーツ大会等の支援、参加
 - ・スポーツ交流会 ・ふれあいピック ・河浦スポーツ交流会
- ⑥ 当事者団体、家族団体の支援
 - ・精神保健福祉会本渡家族会、精神保健福祉会天草地域家族会
- ⑦ 実習生の受け入れ

◆27年度の振り返り・28年度の取り組み

○前年度と比べると、利用者数は900人程度、プログラム参加者数も共に増加した。新規利用者の定着も数名だが実現した。

○27年度後半(12月～3月)より、感染症などの流行により欠席して頂くケースもあり、利用人数の減少が見られた。

○利用者からの希望も多く、体を動かすプログラムが増えた傾向にあり、スポーツを通してスムーズに交流できる場の提供を行うことも出来た。

○月2回の料理教室を通して、利用者間の良いコミュニケーションの場となっている事、自立した生活の向上にもつながっていると考えられたため、27年度後半より、月3回実施する事で、プログラムの参加者数も増加している。28年度は、月4回を計画にあげ取り組んでいく。

○27年度から計画相談で地活を組み込んで頂くケースがあり、今後も増えることが予測される。新規利用者の定着と、施設来所・利用のしやすさを考え関わりを持つ。

○関係機関との協働関係づくりをさらに積極的に行っていく。

自立訓練(生活訓練)事業 事業報告

【1】施設名

地域生活支援センターグリーン

【2】目的

知的障害または精神障害のある方に対して、障害者支援施設、障害福祉サービス事業所または障害のある方の居宅において、入浴、排せつ、食事等に関する自立した日常生活を営むために必要な訓練、生活等に関する相談および助言などの支援を目的とする。

【3】利用定員

10名（平成28年3月31日時 登録12名平成27年度新規利用:3名）

【4】職員配置

職名	職員配置	
	専任	兼務
管理者		1名
サービス管理責任者		1名
生活支援員	1名	
生活支援員(訪問兼務)	1名	

【5】利用期間

原則2年間(1年延長可)

【6】事業内容

(1)個別支援計画

- ①本人の意向に沿った計画を個別に立てて実施する。
- ②個別支援計画に策定時には必ずサービス管理責任者を中心にサービス提供職員と担当者会議を開催し支援の方向性を共有する。
- ③一か月に一回モニタリングを行い個別支援計画が適正に遂行されているかを確認する。

(2)訓練プログラム

プログラム内容	計画	結果	主な活動内容
健康管理	144 回	132 回	スポーツ全般、バイタル測定、頭の体操等
コミュニケーション	40 回	104 回	コミュニケーションゲーム、座談会、カラオケ等
調理・栄養管理	40 回	27 回	調理、栄養講座等
金銭管理	12 回	12 回	金銭出納帳の確認、次月の予算立て、貯金の計画
社会資源活用	12 回	41 回	公共機関の利用、福祉サービスの利用について
就労支援	12 回	33 回	ボランティア活動、パソコン講座、掃除等
文化・芸術	36 回	38 回	創作活動、ガーデニング等
生活支援	0 回	13 回	衛生面での指導、病気の予防に関する勉強会等
自主活動	0 回	65 回	自主活動等
個別支援	0 回	50 回	受診日の確認、金銭計画、
その他の行事・活動	12 回	12 回	スポーツ交流会、家族会講演会等
合計	308 回	527 回	

【7】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用回数	191	184	180	188	182	215	230	214	208	213	213	255	91.7%
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	
稼働率	86.8%	80.0%	81.8%	81.7%	79.1%	97.7%	100.0%	97.3%	90.4%	92.6%	101.4%	110.9%	

稼働率



【8】平成27年度の振り返り

(プログラム内容の変更)

衛生管理プログラムを変更し、生活支援プログラムとする。

変更理由としては、生活面全体の幅広い支援、助言・勉強会を定期的に行う事で自立への促進を図ることを目的とする為。

自主活動の追加については、自身の新たな側面を発見し、より見つめ、自身の個性として定着させていくことが可能な活動であると同時に、その活動を自ら模索し実行できる事を目的とする。

(振り返り)

前年度に比べ新規利用者(3名)が増え、継続し生活訓練プログラムに参加された事により稼働率は一年間を通し大幅に上昇した。

次年度は今年度以上の稼働率を目指し、利用者一人一人に寄り添い密な支援を行っていきたいと考えている。

また、5月に実施した生活訓練日帰り旅行については、全員が参加され問題なく実施することが出来た。

それをふまえて次年度は「日帰り」ではなく、「一泊」の旅行もしくは合宿を実施したいと考えている。

またスポーツ交流会(7月・3月)やふれあいピック等にも積極的に参加する事が出来た。

【9】研修・勉強会参加実績

5/27 精神保健福祉会 天草地域家族会 総会・講演会「消費者トラブル防止について」

5/29 地域精神保健福祉医療担当者研修会「支援者が知っておきたい精神科対応ツール」、「引きこもり支援について」

6/19 第45回熊本県精神障がい者家族大会 記念講演

(人が『回復する』とはどういうことか～家族・当事者・精神科医としてお伝えしたいこと)

7/22 天草地域精神障害者家族支援教室 テーマ「老い支度で家族円満～元気なうちからの備えが大事～」

12/14 第6回こころの健康づくりの集い 講演会「アディクション嗜癖とは」

2/22 依存症家族支援専門研修会「依存症の家族支援について～あなたの業務に活かすには～」

就労継続支援A型

【1】施設の名称

就労サポートセンターぴ～す

【2】目的

作業能力は高いが、一般企業に雇用される事が困難な障がい者の方で、適切な支援・雇用契約等に基づき就労して頂き、生産活動その他の活動の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、その他必要な支援を行う。

【3】利用対象となられる障がい者の方

生活リズム、金銭管理、服薬管理、食生活、協調性がある程度身につけておられ、就労を継続して行うことが可能な障がい者の方

【4】作業内容

・製麺(うどん製造・販売) ・グリーンパーク(9月より)

【5】利用定員

・10名(平成28年度3月31日登録9名)

【6】利用期間その他

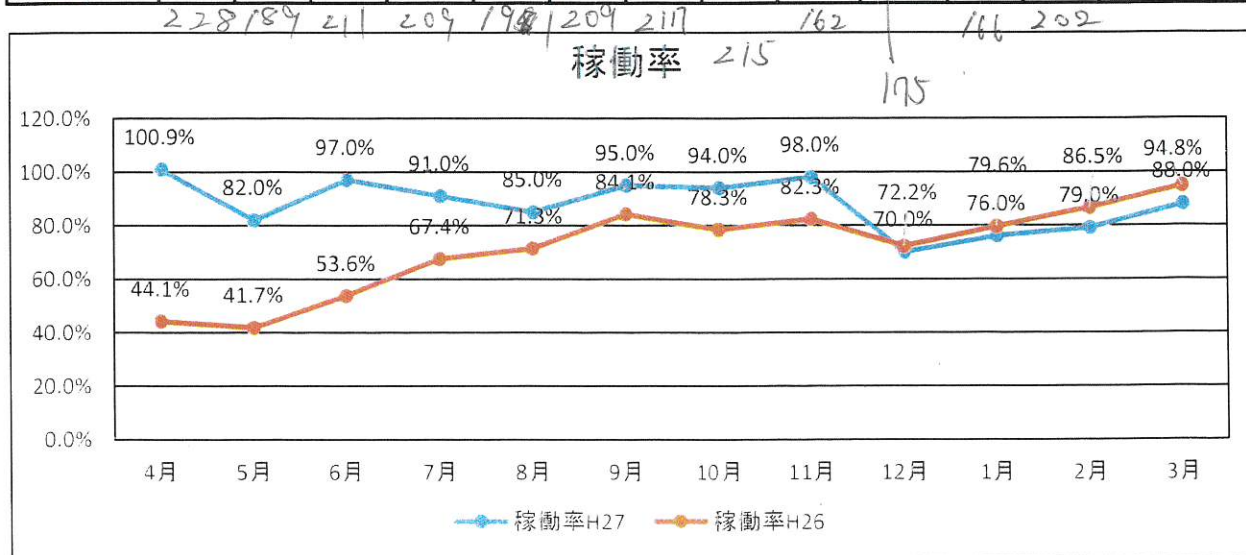
利用期間の定めなし。(原則65歳未満)

【7】販売会

期 日	販 売 会 名 称	販 売 場 所
平成27年5月17日	くまもと障がい者スポーツ大会販売会	県民総合運動公園
平成27年5月27日	天草郡市家族会販売会	天草中央保健センター(天草市)
平成27年5月30, 31日	花しょうぶ祭り	西の久保公園
平成27年8月21日	酒井病院夏祭り	酒井病院
平成27年9月12日	JAとれたて市場販売会	JAとれたて市場
平成27年10月10日	さんばーる販売会	さんばーる
平成27年10月18日	天草支援学校であいふれあいフェスタ	天草支援学校内
平成27年10月25日	あまくさ福祉まつり	天草市民センター
平成27年10月31日	ゆうすい祭	ゆうすいの里
平成27年11月15日	酒井病院文化祭	酒井病院
平成27年11月21日	こすもす秋の大感謝祭	こすもす園
平成27年12月14日	こころの健康づくりの集い販売会	天草中央保健センター(天草市)
平成28年1月7日	H27年度障がい者福祉施設商品展示・商談会	熊本県庁

【8】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者人数	11	11	11	11	11	10	10	10	10	9	9	9	
利用回数	222	180	207	204	182	208	211	207	158	160	164	158	199
可能日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	
稼働率H27	100.9%	82.0%	97.0%	91.0%	85.0%	95.0%	94.0%	98.0%	70.0%	76.0%	79.0%	88.0%	88.0%
稼働率H26	44.1%	41.7%	53.6%	67.4%	71.3%	84.1%	78.3%	82.3%	72.2%	79.6%	86.5%	94.8%	71.3%



- ・利用者人数の変化(H27、4月～8月11名、9月～12月10名、H28、1月～9名)
- ・利用者様の病院入院(5,6,7,8,1,2月に各1名ずつ)
- ・利用者様の気分・体調不良から、半月以下/月の出勤(9,10,11月)
- ・1月天候不良にて事業所臨時休業。

【9】 月別売上

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年間売上
売上	¥87,949	¥161,199	¥96,397	¥526,732	¥235,772	¥106,999	
GP						¥127,890	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
売上	¥233,168	¥151,634	¥623,472	¥87,880	¥167,512	¥103,385	
GP	¥127,890	¥121,800	¥127,890	¥116,264	¥116,264	¥116,264	

【10】 H27年度振り返り

H27年度、利用者様の入院や気分・体調不良からの欠席はあったものの、他利用者様が安定して、また意欲をもって就労して下さり、比較的安定した稼働率で推移できたのではないかと思います。

また、販売会参加や商品販売経路の拡大、9月からのグリーンパーク開始に伴い、前年度より売り上げ増加に繋がりました。これは、利用者・職員の就労に対する思い、またぴ～すを取り巻く様々な機関の支援があつてからこそだと実感しております。

今後も中間施設として、利用者さんのニーズに沿った支援をしつつ、工賃向上に向け、メンバー一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

【11】 研修会

- ・工賃向上研修会
- ・授産施設協議会施設長会議・研修会
- ・授産施設販売促進研修会
- ・サービス管理責任者研修

【12】 商品取扱店

- | | | |
|------------------|--------------------|------------|
| ・ユメール | ・熊本県授産施設振興センター | ・ペルラの湯舟 |
| ・とれたて市場 | (ウェルパルクまもと内) | ・いけす料理やまもと |
| ・藍の村観光株式会社 | ・ミナクルショップ明日香 | ・居酒屋あまくさ村 |
| ・亜夢里 | ・デリカテッセンイーハトーヴSORA | ・ビーフヤヒロ |
| ・門口水産(H27、7～) | ・株式会社クリエーションWEB | ・有限会社明成 |
| ・リップルランド(H28,2～) | PLANNING(H28,3～) | ・うどんの店野の花 |
| ・やすらぎの湯(H28,2～) | | |
| ・海鮮蔵(H28,3～) | | |

就労継続支援B型

【1】施設の名称

就労サポートセンターぴ〜す(平成25年5月1日開設)

【2】目的

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう支援する為、委託による農作業・訓練・創作活動・生産活動を行い、心のリフレッシュを図ると共に自らの自立心を向上できる為の支援を行います。このサービスを通じて生産活動や就労に必要な知識や能力が高まった方は、就労継続支援(A型)や一般就労への移行を目指します。

【3】利用対象となられる障がい者の方

就労移行支援事業等を利用したが一般企業等に結びつかない方や、一定年齢に達している方などであって、就労機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上や維持が期待される方

- ① 企業等や就労継続支援事業(A型)での就労経験があるものであって年齢や体力の面で雇用される事が困難となった者
- ② 50歳に達している者または障害基礎年金1級受給者
- ③ ①及び②に該当しない者であって、就労移行支援事業者によるアセスメントにより就労面に係る課題等の把握が行われている者

【4】作業内容

クラフト製品の制作・販売、モリンガ栽培・収穫・乾燥
除草作業(一般家屋周り・公園・公共施設等)、その他
グリーンパーク場(球拾い作業) 9月より開始

《クラフト納品先》

ユメール(天草市五和町)
とれたて市場(天草市瀬戸町)
愛夢里(天草市河浦町)
リップランド(天草市有明町)
やすらぎの湯(天草市牛深町)

【5】利用定員

10名(3月31日時、登録10名)

【6】利用期間その他

利用期間の定めなし

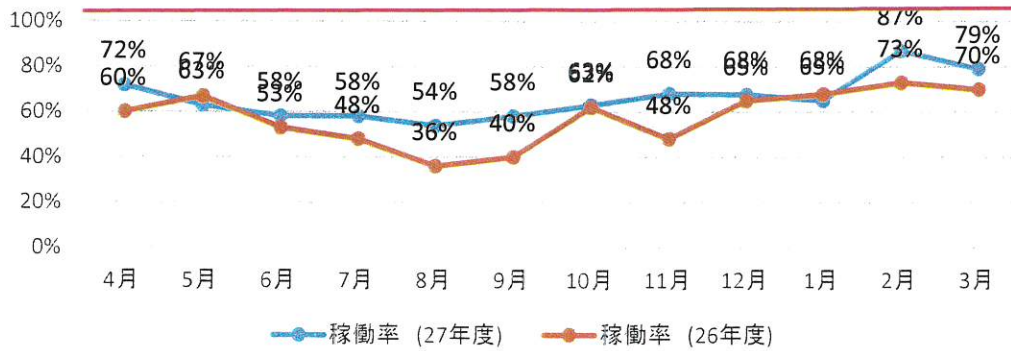
【7】販売会

期 日	販 売 会 名 称	販 売 場 所
平成27年5月17日	障がい者スポーツ大会	県民運動公園
平成27年5月27日	天草郡市家族会	天草市中央保健福祉センター
平成27年5月30, 31日	花しょうぶ祭り	西の久保公園
平成27年8月21日	酒井病院夏祭り	酒井病院
平成27年9月12日	JAとれたて市場販売会	JAとれたて市場
平成27年10月10日	さんぱーる販売会	さんぱーる
平成27年10月18日	天草支援学校であいふれあいフェスタ	天草支援学校内
平成27年10月25日	あまくさ福祉まつり	天草市民センター
平成27年10月31日	ゆうすい祭	ゆうすいの里
平成27年11月15日	酒井病院文化祭	酒井病院
平成27年11月21日	こすもす秋の大感謝祭	こすもす園
平成27年12月14日	こころの健康づくりの集い販売会	天草市中央保健福祉センター
平成28年1月7日	H27年度障がい者福祉施設商品展示・商談会	熊本県県庁

【8】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均稼働率
利用回数	148	145	128	134	124	128	145	150	156	150	183	182	
可能日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
稼働率 (27年度)	72.0%	63.0%	58.2%	58.3%	53.9%	58.2%	63.0%	68.2%	67.8%	65.2%	87.1%	79.1%	65.0%
稼働率 (26年度)	60.0%	67.0%	53.0%	48.0%	36.0%	40.0%	62.0%	48.0%	65.0%	68.0%	73.0%	70.0%	56.0%

稼働率



【9】月別売上

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年間売上
売上	¥8,440	¥23,204	¥8,804	¥77,468	¥6,917	¥62,766	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	¥750,945
売上	¥73,170	¥72,470	¥62,174	¥73,196	¥208,825	¥73,511	

H26年度農作業費未納分 合計6万円 : H28.2.2完納

【10】研修会

日時	研修会名称	研修場所
平成27年2月26日	授産施設まごころ逸品会議	希望荘
平成27年7月15日	第1回販売促進委員会	熊本県総合福祉センター
平成27年11月28日	第1回工賃向上支援研修会	KKRホテル
平成28年1月7日	障害者福祉施設商品展示・商談会	熊本県庁
平成28年2月16日	第2回工賃向上支援研修会	KKRホテル

【11】平成27年度の振り返り

27年度は市役所スポーツ振興課の運動公園において年2回の除草作業やグリーンパークの新たな作業も加わり、クラフトの納品先も2件増え、生産活動の場を広げられた事は売り上げにもつながった。売上は前年度より約32万アップしたが、赤字は継続しており利用者様に還元できるようになるまで、更に売り上げを伸ばしていきたい。その為には、達成する喜びを得ることで意欲を持てるように支援し、クラフト商品の品質向上・商品バリエーションを増やしていき、国民的イベントに合わせた製品の制作と販売を行う。

外作業においては作業中の安全に配慮し、利用者育成に努めていきたい。

稼働率は26年度より56%→65%と9%伸びたが、まだまだ低い為、今後も100%を目指していく。

27 年度事業報告書

外部サービス利用型指定共同生活援助事業所

【1】施設の名称

グリーントポス

【2】目的

地域の共同生活住居において、家事・食事・相談など日常生活上の援助を行い、入居者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営む事が出来るよう支援を行う

【3】利用対象となられる方

1. 一定程度の自活能力のある知的・精神障がい者の方
2. 通院医療を継続している精神障がい者の方
3. 日中に就労又は就労継続支援等のサービスを利用している知的・精神障がい者の方

【4】入所定員

10名

【5】利用期間その他

制限はありません

【6】利用状況 (平成 28 年 3 月 31 日付)

◇新規入居者数 2名 (前年 3名)

◇退所者数 0名 (前年 2名)

◇利用者数計 10名 (前年 8名)

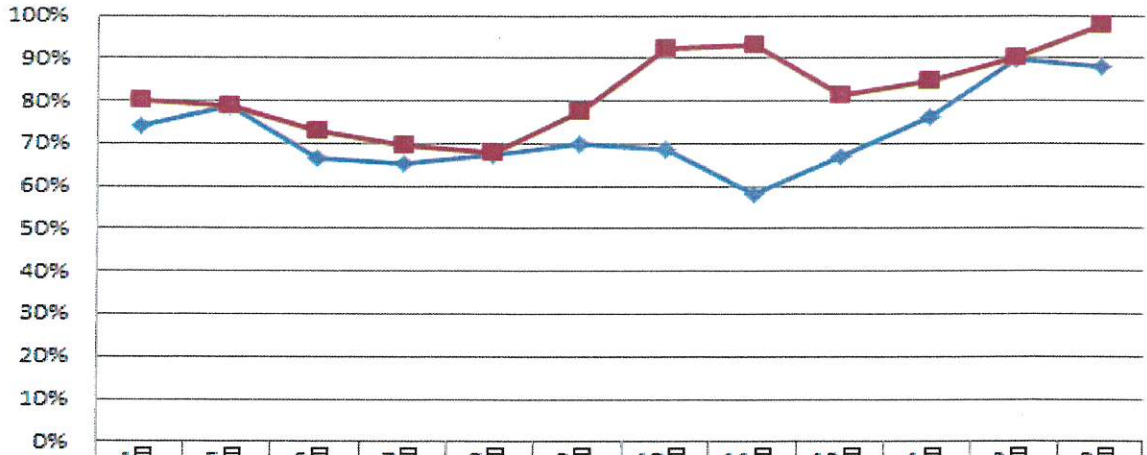
*延べ利用日数 2,998日 平均稼働率82.2% (前年比+9.7%)

【7】月別利用日数と稼働率

27 年度 *体験入所日数含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
利用日数	240	244	219	216	210	232	286	279	244	263	262	303	249.8
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	
稼働率 (%)	80.0%	78.7%	73.0%	69.7%	67.7%	77.3%	92.3%	93.0%	81.3%	84.8%	90.3%	97.7%	82.2%

稼働率比較



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
26年度	74%	79%	67%	65%	67%	70%	69%	58%	67%	76%	90%	88%
27年度	80%	79%	73%	70%	68%	77%	92%	93%	81%	85%	90%	98%
入所者数	8	8	8	8	8	9	10	10	10	10	10	10

○稼働率低下要因として考えられる事

①入所人数

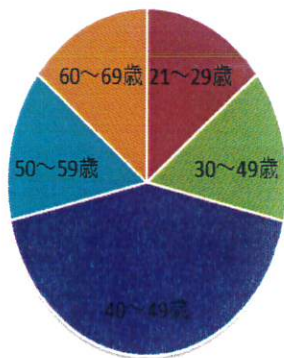
②短長期の入院

- ・ 6/9 入院 1 名 期間約 1 ヶ月半
- ・ 7/17 入院 1 名 期間 3 ヶ月
- ・ 11/18 入院 1 名 期間約 2 ヶ月、11/28 自宅帰省後入院 期間約 3 ヶ月

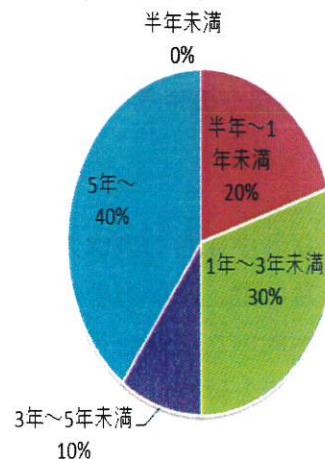
【8】入居者平均年齢 平成 28 年 3 月 31 日現在

	18～20歳	21～29歳	30～49歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～
男性		1名	1名	3名	1名	1名	
女性					1名	1名	1名

平均年齢の割合(男女混)



経過年数の割合



【9】日中活動の場 平成 28 年 3 月 31 日現在

	地域生活支援センター ターグリーン	地域生活支援センター グリーン	就労サポートセンター ぴへす
	Ⅱ型	自立訓練（生活訓練）	就労継続支援A型B型
男性		3名	4名
女性		1名	2名

【10】年間行事

月	行事等	地域活動
4	誕生日会	病院文化祭見学
5	端午の節句、	地域清掃活動参加、病院スポレク祭参加
6	誕生日会、火災非難訓練	
7	七夕会、誕生日会	
8		病院夏祭り参加
9	十五夜、フェスタ準備お疲れさん会	グリーンフェスタ参加
10	誕生日会	地域清掃活動参加
11	誕生日会	福祉まつり参加、他施設文化祭参加 地域のふるさと祭り参加、
12	クリスマス会、大掃除	
1	七草粥、鏡開き	地域町内一周駅伝応援、天草マラソン応援
2	節分、バレンタインデー、誕生日会	連絡協議会催し参加、中学駅伝大会応援
3	ひな祭り、防災非難訓練、誕生日会	

【11】会議

グリーントポス内支援会議 毎月 1回

【12】職員研修

◇施設内研修 5回

- ・グループホームの役割とは
- ・食中毒予防と衛生管理
- ・旬の野菜を学ぼう
- ・利用者様や家族様への接遇

◇施設外研修 2回

開所から6年。10名中4名の方は入所期間5年以上経過され、トポスでの個々の生活スタイルを築きつつある。入所して数ヶ月の方、長い方それぞれが望む日常生活・地域生活・就労意欲に寄り添い、健康管理に気を配りながら、自立へ向けた援助を行ってきた。

継続して同法人内施設と連携し支援する中で、今年度後半からグループホーム内支援と同法人各施設での支援を区分し、各施設で対応可能な支援は協力依頼する事とした。それにより支援内容を濃い物とする事が出来

た。又、世話人の負担を軽減する事も出来た。

体験入所を経て2名の新規入所者をむかえ、施設内にも新しい風がふいた事で入所者の方にも変化がみられた。自然と入所の長い方がグループホーム内ルールやその他の決り事を新規入所者へ伝える流れとなり、長期入所者の自立心が強くなった事や、新規入所者と既存の入所者とのコミュニケーションも図られ良い結果となった。

本人の望む生活、生き方に出来る限り近づけられる様支援者一丸となり、安心して暮らせる環境づくり、居心地の良いグループホームの生活づくりに今後も努めて行く。

○食事提供

旬の野菜や魚を取り入れ家庭的雰囲気味わえる様努めた。常に衛生上の安全には細やかな配慮を行い、世話人同士の声掛けを実行。手・食器類の消毒等安全管理を行った。

体調（情緒）不良により食事拒否をされる方に於いては、無理じいはず声かけ後見守り観察。拒否継続時は同法人内施設と連携し対応を依頼。偏食がある方には、食材を細かく刻んだり、擦ったり調理方法や見た目にも凝らし、バランス良い食事提供を心掛けた。

誕生会や外食、行事食、BBQを取り入れ入所者同士親睦が深められ、コミュニケーションが図れる様支援。

○支援内容

入所者の方が自分らしく自分のペースで日常生活や地域生活が送れるよう対人関係の調整、病院受診や健康診断、金銭管理等の援助、相談助言、仕事参加への促し。ご家族、日中活動先、医療機関との連携を密に行った。

1、入所者の方の人権尊重

個別相談等時に於いては周りに配慮し入所者の方が安心して相談できる環境づくりを行った。

2、就労に関しての支援

働く事で収入を得て、より豊かで自分が望む生活に近づける事、金銭面でも家族から自立した生活が送れる事を説明助言。

又、世話人と連携し励ましを行いながら、日々笑顔で送り出す事を行った

3、健康管理についての支援

日頃より入所者の方の表情、言行動に気を配り、管理者やサービス管理者に申し送る。

状況に応じ、定期受診日以外の受診の促し、同法人内施設への協力依頼、地域検診、健康診断を促す等の支援を行った。

体重増加や便秘を気にされている入所者の方へ散歩を促し適度な運動に取り組める様世話人と共に行った。

服薬に自信が無い方や入所間もない方に誤薬等が無い様、都度服用前と後の薬袋を目視にて確認。

又、どうしても間隔を空けず服用してしまう方には、自己管理を目標にして事務所で保管し1日分毎のお渡し、あるいは同法人内施設に依頼し、保管管理、助言対応等の支援を行って貰える様に努めた。

薬の飲み合せや服用している薬について、自分で直接地域調剤薬局の担当薬剤師に相談できる様に連携をとり相談出来る環境を整えた。

4、対人関係での調整

トラブルは当事者同士の調整を優先。どうしても介入が必要な場合または、当事者が望んだ場合に調整。社会生活する上で人間関係の大切さを助言。

又トラブル要因は、当事者の思い込みによる聞き違い、情緒不良による暴言や行動が多かった。

5、身辺整理への援助

洗濯・ゴミの分別・居室掃除・入浴・衣替え等の声掛け、助言等行った。居室の片づけをどうしても自分で出来ない方は必要に応じて、ご家族に協力を頂きご家族と一緒に掃除が行なえる様支援。一緒に行う事で本人の意識を高め、ご家族とのコミュニケーションが図られた。ご家族からも「こんなに物をため込んでいたんですね。これから定期的に来ますね」との声があった。

6、地域との連携における支援

地域との連携に於いては各行事等に参加し地域の方々と交流を深め地域住民とのコミュニケーションを図った。地域生活を行っているという意識を持っていただく為に、地域の清掃活動に参加している。

7、収入・支出との兼ね合いについての支援

金銭管理が不十分な方、個人管理が不安な方、小遣い帳点検を依頼される方に対しては、希望を聞き取り後グループホーム内で全て対応していたが、年度後半より、個々の状況や希望に合わせ同法人内施設へ依頼。世話人と同法人内施設が情報を共有し支援を行った。

8、防災管理

年二回（6月・3月）の火災非難訓練と9月に消火器・火災報知器・避難誘導灯等の点検を定期的に行い防火設備の整備に努めた。

常時防火設備の保全と避難誘導経路の確認を行い、入所者・世話人の防災意識の向上に努めた。